



カトリック長崎大司教区 広報委員会 〒852-8113 長崎市上野町10-34

祈りの意向 祈禱の使徒 日本 戦争や飢餓から逃れた移民が、受け入れ国で歓迎され、新しい生活の機会を見いだすことができるように...

日本司教団 9年ぶりアド・リミナ バチカン各省への訪問と教皇謁見

4月8日から13日まで日本司教団のアド・リミナが行われ、全15教区から司教と補佐司教の計17人がバチカンを訪れた。



バチカンを訪れた日本司教団 4月12日教皇謁見の日の朝、サンピエトロ広場

初めてのアド・リミナ

大司教 中村 倫明

4月8日から13日まで日本司教団はアド・リミナを行いました。アド・リミナとは「使徒たちの墓所の訪問」のことです。

教皇様にお会いするのは、期間中一日だけですが、前後には、教皇庁の種々の省庁に出向いて報告や情報交換を行います。



この3枚は中村大司教が撮影。1枚目から... ①上階から見たサンピエトロ広場の反対側。聖家族も表現されている(中央)。

家庭省、総合人間開発省、教理省、シノドス事務局、典礼秘跡省、福音宣教省、広報省、列聖省、使徒座署名院最高裁判所の訪問で過密日程でした。



いのち・信徒・家庭省を訪問する日本司教団 2024年4月9日

列聖省では、永井隆・緑夫妻の列聖運動準備のために長官に励ましを願いました。長官は「その人たちが聖人にしたいの思いが第一ではなく、また列聖はその人たちが天国に行っているという証明ではないと、長官に励ましを願いました。」

教皇謁見においてフランシスコ教皇様は「よくおいでになりました。お手洗いは横の部屋にありますよ、わたしは人間ですからね」とにこやかに話してくださいます。

滞在中のミサは、初日が神のお告げの祭日でしたので、お告げの MARIA 修道会のためにミサをささげることから始め、教区の皆様や修道会のため、また期間中にお亡くなりになったお二人の神父様のお母様のためにささげました。



2025年聖年 今年12月24日に バチカンの「聖なる扉」開放

- 2025年は「希望の巡礼者」をテーマとする聖年の年。教皇フランシスコは5月9日、聖年を布告する大勅書「Spes non confundit」(希望は欺くことがありません)を発表された。
2024年 12月24日 聖ペトロ大聖堂の「聖なる扉」開放
2025年 1月24日 26日 メディア界の祝祭
2月8日 9日 軍隊・警察・警備関係者の祝祭
2月16日 18日 芸術家の祝祭
2月21日 23日 助祭の祝祭
3月8日 9日 ボランティア界の祝祭
3月28日 主にささげる24時間/28日 30日 いっしょの宣教師の祝祭
4月5日 6日 病者と医療従事者の祝祭
4月25日 27日 ティーンエイジャーの祝祭
4月28日 30日 障がい者の祝祭
5月1日 4日 労働者の祝祭
5月5日 企業家の祝祭
5月10日 11日 楽団の祝祭
5月16日 18日 慈善団体への祝祭
5月24日 25日 子どもの祝祭
5月30日 6月1日 家庭・祖父母・高齢者の祝祭
6月7日 8日 教会運動体・諸団体・新しい共同体の祝祭
6月9日 ローマ教皇庁で働く人の祝祭
6月14日 スポーツ界の祝祭
6月20日 22日 各国政府の祝祭
6月23日 24日 各学生の祝祭
6月25日 司教の祝祭
6月26日 27日 司祭の祝祭
6月28日 東方諸教会の祝祭
7月28日 8月3日 青年の祝祭
9月15日 いやしの祝祭
9月20日 正義の祝祭
9月26日 28日 カテキスタの祝祭
10月5日 移住者の祝祭
10月8日 9日 奉獻生活者の祝祭
10月11日 12日 マリアの霊性の祝祭
10月18日 19日 宣教のための祝祭
10月30日 11月2日 教育界の祝祭
11月16日 貧しい人の祝祭
11月23日 聖歌隊の祝祭
12月14日 受刑者の祝祭

教区評議会 2024総会

小教区の統廃合に関する説明も

5月3日(金)カトリックセンターで教区評議会2024年度総会が開催され、約100人の小教区・各部門代表の司祭・修道士・信徒が集まりました。

午前の部

はじめに、中村倫明大司教による会長あいさつ。長崎教区の理念である「ともに参加し、ともに宣教する」とともに宣教する長崎教区、および、二つの優先課題である「ともに集い、喜びある教会に」「わたしたちの教会からわたしの家庭から司祭や修道士を」を常に念頭に置いて行動するよう呼びかけた。

午後の部

小教区の統廃合問題について中村大司教から説明があった。現在、教区司祭担当の64の小教区数に、他教区派遣・助任・協力司祭を除いた主任司祭の結果をもとに統廃合を進めていきたい。



祭数は59人と不足し、5小教区が兼任教会になっている。今後の司祭叙階数や引退司祭数を考慮すると、さらに状況は厳しくなると予想されるので、統廃合の実施を覚悟しておいてほしい。

最後に、昨年発足した滑石教会の青年部(現在の部員10人)からあいさつがあり、「今後、他の小教区との交流の輪を広げていきたい」と熱く希望を語った。

ほしかげ

6月の長崎には紫陽花がよく似合う。梅雨の雨に打たれながら咲く色鮮やかな花は、白、青、ピンク、紫、緑などの小さな花が集まって、仲よく咲いているかのようにも見える。いくつもあるその花言葉には、「家族」や「団らん」というものもあるという。紫陽花が美しい3年前の6月、父は突然天に召されて行った。晩年、腰は曲がり、足取りもおぼつかなくなつた父を乗せて、桜の並木道をドライブすると、荒く頑固な一面を持つ父だったが、素直に「きれい」と言ってくれた。車で送迎する時も、降りる時はいつも「ありがとう」と言ってくれた。地上と天上で離ればなれになつても、永遠という時の中で、父と心は今もつながっているという強い実感があふれる。そのためか、訳もななく、「おとうさん」と叫びたくなる時がある。主イエスは、「アッパ(おとうちゃん)」という親しい言葉で日々御父に語りかけ、私たちも同じように祈るようにと、「主の祈り」を残してくださいました。福音の要約とも言われるこの祈りには、私たちに必要な願いのすべてが込められている。司祭館で夕食の前に、ウクライナと世界の平和を願う、ともに「主の祈り」を唱えている。最後に「アーメン」と締めくくるとき、同じ心で祈る世界中の人たちと、一つの心で結ばれるのを感じる。地球家族の皆が安らぐことのできる、平和の実現を強く願っている。(健)

### 5年ぶり浦上教会から巡礼団 津和野・乙女峠まつりへ



5月3日(金)、中野健一郎郎、西田祐尚師を含む浦上教会巡礼団総勢34人は「乙女峠まつり」に参加するため、早朝5時に大型バスで浦上教会を出発した。津和野までは高速道路を急いで片道5時間程度、津和野教会前からの聖母行列出発にやっと間に合う時間である。昨年まではコロナ禍の影響で非公開、参加制の巡礼者が参加した。

森山司教は説教の中で、この乙女峠で信仰を証しし命をささげた37人の殉教者の一日も早い列聖を願うこと、今の日本では迫害はないが、他者に対する無関心と、人を神から引き離す考えが横行していることに触れ、「世界の中では今なお迫害を受ける人たちもいます。」



ミサの後、乙女峠からの山道を十字架の道行を唱えながら殉教者が葬られていた蕪坂まで歩き、花束を供えて先祖の遺徳をたたえた。津和野教会へ戻ると、萩教会の巡礼団と合流。ぜひ「信徒発見のメリア像」と共にと言われ、一緒に記念写真撮って津和野を後にした。

津和野・乙女峠まつり開催の知らせはコロナ禍を経て広く伝えられ、全国各地から個人や団体で約千人が集まり、殉教者をしり込んで祈りがささげられた。今年長崎からは、巡礼団となつて現地を訪れた浦上教会の他、近隣の城山教会でも司祭の呼びかけによって、中高生・青年が福岡市の笹丘教会(共に聖アウグスチノ修道会)の中学生・青年と共に、司祭を合わせ計8人で津和野を訪れた。

### 在長崎ベトナム人 創設10周年記念青年キャンプ集会



5月4日(土)〜5日(日)、在長崎ベトナム人カトリック共同体創設10周年記念青年キャンプ集会が諫早市内で行われた。

現在、長崎には約2700人のベトナム人が生活しています。技能実習生、留学生、研修生などさまざまなです。このたび、小長井町にあるみさかえの園の運動場を使用しキャンプ集会を開きました。集会には若者とゲスト、スタッフ合わせて約70人の参加者がありました。シスターたちと交流した。

1日目は19時から十字架の行列が行われ、「愛のうちに共に歩もう」というテーマのもと、アトラクションが行われました。劇や踊りなど実に多彩な内容で、約2時間のプログラム。その後、テゼの祈り、福音朗読、「世界の平和のために」というテーマで締めくくりました。2日目は、中村倫明大司教様、司祭方、シスター方も参列し、閉会のミサがささげられ、喜びのうちに大会が終了しました。

2024年5月7日  
キャンプ実行者代表  
デイン・シャン・シン

### 青年と司祭ら計32人が巡礼ウオーク 平和、子ども、召命のため祈る



5月5日(日)〜6日(月)、教区召命委員会辻原達也委員長(主催)の青年を対象とした召命巡礼ウオークが長崎市で行われた。青年20人と司祭・スタッフ12人の計32人での「歩き」であった。

1日目は大司教館をスタートし、平和公園、城山教会、稲佐教会を経て飽の浦教会まで歩いた。訪れた場所ごとに平和のため、子どもたちのため、召命のためロザリオを一連ずつ唱え、それぞれの教会での話しを聞いた。宿泊は飽の浦教会にお世話された。

2日目は飽の浦信徒とのミサで始まり、小雨が降る中で「歩き」を再開。青年同士の交わり、語りがあり、皆寝袋で就寝した。



主催者は、「歩いての長崎一周。到着時には雨も上がり、達成感と一体感のうちに参加者全員の顔が晴れ晴れとしていました。たくさんの方にたくさんお世話になりました。この先青年たちの召命への良き「歩き」があればと願います」と話していた。

2024年度 行事予定 ※行事の追加や日程などの変更があります		
月日	行事	場所など
5月 3日(金)	教区評議会総会	カトリックセンター
3日(金)	第144回クルシリヨ(5/6まで)	お告げのメリア修道会本部
4日(土)	在長崎ベトナム人カトリック共同体創立10周年記念 青年キャンプ集会(5/5まで)	諫早市内
5日(日)	青年のための巡礼ウオーク(5/6まで)	長崎市内
12日(日)	井持浦ルルド祭	井持浦教会
18日(土)	カトリック講座(全10回、11/2まで)	カトリックセンター
19日(日)	雲仙殉教祭	雲仙メモリアルホール
6月 9日(日)	中村大司教と青年の交流会	大司教館
10日(月)	教区司祭黙想会(6/13まで)	福岡市(旧大神学院)
15日(土)	カトリック中央協議会 HIV/AIDS デスク主催 第10回勉強会「エイズと宗教」	カトリックセンター
8月 5日(月)	召命親子キャンプ(8/6まで)	長崎市内
9日(金)	平和祈願祭(長崎)	浦上教会・平和公園
11日(日)	教区高校生黙想会	カトリックセンター
15日(木)	聖母平和祈願祭(佐世保)	アルカス SASEBO
17日(土)	沖縄平和学習(8/19まで)	高校生対象
9月 1日(日)	大村殉教祭	シーハットおむら
8日(日)	十字架山殉教祭	長崎市・十字架山
15日(日)	福者カミロ・コンスタンツォ殉教祭	焼罪史跡公園
29日(日)	聖トマス西と十五殉教者祭	中町教会
10月 2日(水)	シノドス第2会期(10/27まで)	バチカン
15日(火)	教区司祭黙想会(10/18まで)	カトリックセンター
20日(日)	牢屋の窄殉教祭	久賀・牢屋の窄
27日(日)	キリシタン洞窟ミサ	若松・キリシタン洞窟
11月 予定	長崎青年の日	大司教館
1日(金)	司教座聖堂献堂記念日・記念ミサ	浦上教会
4日(月)	教区女性部ソフトバレーボール大会	長崎市内
10日(日)	黒瀬の辻殉教祭	生月・クルスの丘公園
12月 1日(日)	平戸ザビエル祭	平戸ザビエル記念教会
24日(火)	2025年聖年「聖なる扉」開放	バチカン
1月 予定	青年・新春スポーツ大会	大司教館
18日(土)	キリスト教一致祈祷週間(1/25まで)	キリスト教諸教会
19日(日)	長崎キリスト教一致礼拝	中町教会
2月 2日(日)	日本二十六聖人殉教記念ミサ	西坂公園
3月 9日(日)	教区青年黙想会	大司教館
17日(日)	日本の信徒発見の聖母記念ミサ	大浦天主堂
通年	聖書愛読運動	教区評議会
通年	一葉募金(災害救援募金)	//
12/1~1/15	クリスマス愛の募金	//
毎月9日	「平和を求める祈り」	教区平和推進委員会
毎月第3火曜	朝拝会(長崎)	教区エキュメニズム・諸宗教委員会

### 中央協議会 HIV/AIDS デスク 第10回勉強会「エイズと宗教」

6月15日(土)13時〜16時 長崎カトリックセンター  
勉強会「エイズと宗教」偏見、差別、誤解、排除、他人意識を変えるには「」が長崎で開催されます。ぜひご参加ください。定員300人、参加費無料。

【導人】井上洋士(HIV/AIDSデスク委員)

【登壇者】古川潤哉(浄土真宗本願寺派浄誓寺僧侶、平良愛香(日本基督教団川和教会牧師、同デスク委員)、中村倫明(カトリック長崎教区大司教、同デスク担当司教)

【主催・問い合わせ先】ファックスかメールでの申し込み  
カトリック中央協議会 HIV/AIDS デスク  
TEL 03-53362-4414

\*左記へ、氏名・所属(教会名など)をお知らせください。  
FAX 03-53362-7620 hivaid@cbj.catholic.jp

ペト口岐部と187殉教者列福式記念墓地・高見三明大司教祝福

## カトリック長崎中央墓園

所在地:長崎市田中町3450番地6~7 既存道名:中尾木場(木場峠付近)  
開発総面積:2648.66㎡ 付帯設備:照明、水道、管理棟

自然の中で故人と静かに語りあえる天の門

〈区画/規格:1.5m×2.0m 3.0m〉  
墓礎1区画(青・桜・白).....182.5万円 ※自由区画もあります。  
(永代使用料50万、管理費10年6万円、消費税を含む)

〈納骨堂式〉  
納骨堂式1基(3段).....78万円  
(永代使用料20万、管理費10年3万円)  
(消費税を含む)

バリアフリー仕様 駐車場 26台以上完備 トイレ・給水設備 完備 十字架墓標 設置完備 ゴミステーション 完備

墓地管理委員会  
〒850-0055 長崎市田中町1-13 カトリック中町教会内 代表:主任司祭 山脇 守  
TEL 095-823-2484 FAX 095-823-2486

お問い合わせ  
石 有限会社 長崎益栄商事(石材部 益栄石材)  
〒850-0066 長崎市大浜 650-111 TEL 095-834-4910 FAX 095-834-4912

タンスの中身は入れたまま 24時間営業・年中無休  
責任ある安全運送!! 受付時間 7:00~22:00  
(見積り無料・荷造り発送も致します)

## 水浦運送

シモン 水浦 幹雄  
長崎市上野町12-3  
TEL(095)代847-7151  
携帯 090-7923-9005

貨物保険有り  
・一般引越  
・小荷物  
・遠距離  
・荒ゴミ捨て  
・学生引越

白蟻調査無料・駆除予防工事5ヶ年保証付  
白蟻防除施工士

## 大田白蟻研究所

代表者 大島和彦  
(〒850-0811)長崎市矢の平1丁目14番15号  
富長崎 095-822-8436  
FAX 095-822-8488

長崎大司教区現勢統計表 (2023/12/31 現在)

Summary statistics table including area (長崎県), population (1,263,819), and religious figures (信徒数 57,615).

Main data table with columns for parish (小教区), gender (信徒数), baptism (洗礼), Eucharist (ミサ参加者), marriage (結婚), and death (死亡).

(1) 混宗婚とは、カトリック信者とカトリック以外のキリスト信者との結婚 (2) 異宗婚とは、カトリック信者と非キリスト者との結婚

5月1日開設 子どもと女性の人權相談室

今年4月からの再開を予定(本紙4月号既報)していた長崎教区の「子どもと女性の人權相談室」が5月1日、中町教会信徒会館の一室に開設した。

お知らせと案内の全文は、今年3月19日教区顧問会で承認された「子どもと女性の人權相談室規程」と共に、教区ホームページから閲覧できる(下記QRコード)。相談室の連絡先などは次の通り。

第144回クルシリオ

5月3日(金)夕方6日(月)夕方まで、お告げのマリア修道会本部を会場に第144回クルシリオが行われ、14小教区14教会より17歳から83歳までの男性10人、女性10人の合計20人が参加した。

みづあみの会主催 一日の祈りの集い 開催日と場所(教会名) 6月6日(木)三浦町、7月6日(土)福江、9月14日(土)城山、10月5日(土)本原、11月4日(月)田平、2025年1月14日(火)滑石

2020年 被爆75年から5年間のチャレンジ、核なき世界基金 https://nuclear-free.net/

訂正 (二〇二四年度)カトリック教会祝日表(追加) 30頁「電話番号」 子どもと女性の人權相談室 095・801・1998

修正 29頁「4月27日」の欄 : 神のいつくしみの青 : 神のいつくしみの青 : 30頁「教区本部」掲載のアウトグースチン・トゥ師は、長崎コレジオへ異動のため、この欄から削除をお願いいたします。

7月号は 休刊いたします

ベナンチオ 水浦征男神父

(コンベンツアル 聖フランシスコ修道会)



4月10日、肺炎のため長崎市内の安中外科・脳神経外科病院で逝去。82歳。

1941年11月20日神戸市生まれ。鷹取教会で受洗。60年入会。68年3月20日イグナチオ(東京・麹町)教会で司祭叙階。72年東京・赤羽修道院、カトリックグラフ社。74年関町修道院長、関町修道院長。76年赤羽修道院、赤

洗者ヨハネ 下川英利神父 帰天



4月26日午後3時14分、前立腺がんのため聖フランシスコ病院で逝去。91歳。

1933年4月10日南松浦郡生まれ。桐教会出身。60年3月15日桐教会で司祭叙階。同年4月から太田尾教会助任。62年大曾、71年俵町の両教会で主任。73年カトリックセンターで司牧企画室長を、その後、83年浦上、88年貝津、92年田平、98年中町、2005年諫早の各教会で主任を務めた。17年4月引退。 通夜は4月28日浦上教会信徒会館、葬儀ミサ・告別式は29日同聖堂で中

羽教会助任。79年関町修道院、大神学校副校長。82年イタリア・アシジへ派遣。85年長崎・聖母の騎士修道院、「聖母の騎士」編集長。91年聖母の騎士社代表。2009年兵庫・仁川修道院、仁川教会主任。17年赤羽修道院、赤羽教会主任。18年聖母の騎士修道院、東長崎教会協力。1974年から82年までカトリック中央協議会で、局長補佐、事務局次長、広報委員会の秘書を務めた。81年教皇ヨハネ・パウロ2世来日の折には各機関との調整や報道対応にも奔走した。また修道会では、広報委員長、管区評議員、管区事務局局長、正義・平和・環境保護担当などを歴任した。

村倫明大司教の司式により行われた。 通夜では嘉松宏樹師が説教をし、多くの思い出の中から、下川師は電話をかけてくる時いきなり「どげんしととね」と名前を名乗らないのが特徴で、私の心の中に自分が存在しているのかを問われていたこと、それは、神さまの「私だ」という声に通じるものだった。かもしれないと回想した。 田平教会では長椅子やステンドグラスを、中町教会では「ほほえみの十字架」を設置し、好奇心いっぱいの方だったと振り返り、出会いを与えてくださった神に感謝した。 葬儀では長年の付き合いがあつた平野勇師が説教を務めた。下川師がセンターの司牧企画室長として教区の要理教育の刷新に尽力し、その後も要理教育の歴史を研究していたことなどその功績を称えた。最後に、参列者に呼びかけて聖歌「栄光から栄光へ」とを共に歌い、故人が栄光の姿へと変えられることを願って結んだ。

会葬御礼

カトリック長崎大司教区司祭洗者ヨハネ下川英利神父の逝去につきましては、早速ご丁寧なる弔問・弔電ならびにご香典を賜り、葬儀の際にはご会葬・献花の弔意に接しましたうえ、各教会・修道院で故人のために祈りいただき、誠にありがとうございました。紙上をもって代えさせていただきます。 二〇二四年四月

カトリック長崎大司教区 大司教 中村 倫明

カトリックセンター 今に続く これまでの歩み見つめて②

現在カトリックセンターに所在を置く教区本部事務局や法会計事務室などは2025年1月、大司教館へ移転する予定となっている(本紙24年2月号掲載)。この移転に伴い、教区ではよりよい現場環境となるよう目指すとともに、センター土地建物の今後について検討していくこととなる。この機会に、1971年の落成以来今に続くカトリックセンターのこれまでの歩みを、「教報」の過去の記事から見つめていく。

建築始まり、工事進む

1970(昭和45)年10月号の紙面をめくると、「里脇大司教の手で定礎 カトリックセンター建築始まる」との見出しがある。

その後も工事の進捗状況を伝える記事は度々掲載された。センターの建設が、信徒・聖職者、修道会など多くの人々から物心両面にわたり支えられていたことが分かる。「工事も順調にはかどっており、11月末までに地下機械室のコンクリート打ち込みも終了、いよいよ基礎工事にかかると(1970年12月号)」

「(71年)3月末までに、講堂と本館5階までのコンクリート打ち込みも終わり、せき板も取りのけられた。信徒の熱意もたかまって、拠金も計画通り積み立てられていくほか、篤志の献金も寄せられ続けている(71年4月号)」

喜びの祝別・落成式

1971年11月号の1面、「センターは昨年9月25日、定



同じく11月号の特集ページには、祝別・落成式当日の様子も含め、いくつかの写真が掲載されている。 写真説明を列挙すると、「名実ともにカトリック・センター」

礎式が行われてから1年と10日の工事を終えて、10月4日、喜びの祝別・落成式を行った。 教区司祭、男女修道会代表、各小教区信徒代表、建設委員会委員と来賓長崎市長(代理)、カトリック国会議員など350人が参列、10時から里脇大司教の手で祝別されたあと、新ホールで落成式が行われた(中略)

落成式では、建設委員長中島万利師の経過報告のあと里脇大司教のあいさつがあつた(つた)

落成式での 大司教のあいさつ(抜粋)

「教区の信仰の歴史に深いゆかりのある浦上天主堂と並んで、教区信者の総力で、新しい時代にあふましい信仰の証しの場を設けたことは、それだけで教区一致の象徴として意義深いものがあります。しかし、このセンターに期待されるのは、神と社会への私たちの奉仕の場として生かされることであります。 このような意味で、新しいセンターがその機能を十分に発揮できるように、今後とも皆様のご支援を切にお願いいたします」

\*引用箇所は一部編集済み。



建築中のセンター。右手は信愛幼稚園。



里脇大司教の手で祝別



神学講座も新ホールで



運営委員会が、今年11月

▲この3枚は1971年11月号『カトリック教報』の「祝別・落成式」特集ページの一部。人々から大きな期待と関心が寄せられる中、ついに教区の活動拠点としてスタートを切ったセンター。信者の熱心な思いが目に見える形となった。

カリス通信 6月号 海外旅行保険のご紹介
留学、出張、視察、会議出席、巡礼などで海外へ行かれる場合、思わぬ事故が発生することがあります。海外では医療費が驚くほど高かったり、病院が遠方だったり、救急車が有料だったりします。カリスでは、海外渡航されるカトリックに関係する皆様を対象に、「海外旅行保険」をお勧めしております。事故例を紹介いたします。
事例1: 機内で嘔吐し空港到着後に意識を失う。救急搬送され17日間入院し、医師付き添いで帰国した。(ホノルル) 支払額: 3,262万円
事例2: 観光中に転落、病院に搬送され骨折と診断。都市まで搬送されて手術した。(トルコ) 支払額: 633万円
カトリック共済システム 有限会社カリス 連絡先 ☎0120-77-0033

【主な補償について】
傷害・疾病死亡補償: ケガや病気が原因で亡くなった場合
治療・救済費用補償: ケガや病気が原因で治療が必要になった場合
賠償責任補償: 他人にケガをさせてしまった場合、他人の物を壊してしまった場合
携行品損害補償: カメラ等の携行品が盗難、破損、火災等により損害を受けた場合
①出国日と帰国日、②渡航目的をお知らせくだされば、ご希望の補償内容、ご予算に合わせてお見積りします。
※本ご案内は「海外旅行保険」の概要をご紹介します。ご契約の際は必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。
私たちが、大澤阿紀子 毛利玲子 小松修三 お守りします。 川口 薫神父(顧問) 服部秀昭

主の平安 株式会社 五島式典社(斎場) 五島中央会館 奈留会館
代表取締役 コセフ 浦 昭
24時間営業
五島市上天津町 1385 番地 1 TEL (0959) 74-5551 FAX (0959) 74-5552
五島市奈留町浦 1899-1 TEL (0959) 64-3101 FAX (0959) 64-3102
注文家具の店 家庭祭壇・聖具・祭壇・長椅子・朗読台
佳織木工所
《家庭祭壇ギャラリーOPEN》パンフレットもごさいます。
〒857-0032 佐世保市宮田町7-7 ☎0956 (23) 1867 代表 ヨハネ 濱口 知博